



## Cisco Spaces : Smart Workspaces ソリューションガイド

最終更新 : 2024 年 8 月 6 日

### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 : シスコ コンタクトセンター  
0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間 : 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



## はじめに

---

ここでは、このマニュアルの対象読者、構成、および表記法について説明します。また、他のマニュアルの入手方法についても説明します。

ここでは、次の項について説明します。

- [対象読者](#) (iii ページ)
- [表記法](#) (iii ページ)
- [略語の一覧](#) (iv ページ)
- [関連資料](#) (v ページ)
- [通信、サービス、およびその他の情報](#) (v ページ)

## 対象読者

このドキュメントは、Cisco Spaces : Smart Workspaces アカウントの有効化の担当者を対象としています。このドキュメントの対象者は、主に次のとおりです。

- ハイブリッドワーク体験を有効にできる Cisco Spaces アカウント管理者
- 従業員体験を向上させるためにワークスペース施設を改善できるビル管理者
- Smart Workspaces を展開する IT およびネットワーク管理者
- Webex および Meraki テクノロジーの設定を担当するシステム管理者

## 表記法

このマニュアルでは、以下の表記法を使用しています。

表 1: 表記法

表記法	説明
太字フォント	コマンド、キーワード、およびユーザーが入力するテキストは太字で記載されます。 コマンド、コマンド オプションおよびキーワードは太字で示しています。
イタリック体	文書のタイトル、新規用語、強調する用語、およびユーザが値を指定する引数は、イタリック体で示しています。
[Option] > [Option]	GUI の一連のメニュー手順を説明するために使用されます。

## 読者への警告の表記法

このマニュアルでは、読者への警告に次の表記法も使用しています。



(注) 次の情報に、役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料が含まれていることを意味します。



ヒント 「問題解決に役立つ情報」です。



注意 注意が必要であることを意味します。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## 略語の一覧

表 2: 略語の一覧

略語	説明
BLE	Bluetooth Low Energy
RSSI	受信信号強度インジケータ
SSID	Service Set Identifier
UUID	汎用一意識別子

## 関連資料

- [Release Notes for Cisco Spaces](#)
- [Cisco Spaces コンフィギュレーションガイド](#)
- [Cisco Spaces に関するすべてのサポートドキュメント](#)

Cisco Spaces ソリューションの詳細については、<https://cisco.com/go/spaces> に移動してください。

## 通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[Cisco Services](#) [英語] にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[Cisco Support](#) [英語] にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco DevNet](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

## シスコバグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

## マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。





# 第 1 章

## Cisco Spaces : Smart Workspaces の概要

Cisco Spaces : Smart Workspaces ソリューションでは、**Space Experience** や **Space Manager** などのアプリケーションを通じて、オフィス施設のハイブリッドワークが可能になります。このソリューションは、従業員と施設マネージャの両方に、迅速かつ簡単なオンボーディング体験を提供します。

- **Space Manager** アプリケーションでは、会議室の収容人数や空き状況などのリアルタイムの占有率データにアクセスできます。また、このアプリケーションでは、周囲の温度、湿度、電波品質、ノイズなどの環境関連のテレメトリも表示されます。
- **Space Experience** アプリケーションを使用すると、Cisco Spaces を通じて建物やフロア全体のサイネージを有効にすることができます。
- [ライセンス要件 \(1 ページ\)](#)

## ライセンス要件

**Space Experience** と **Space Manager** の両方のアプリケーションが、Cisco Spaces ACT ライセンスに紐付けられていること。





## 第 2 章

# Space Experience

---

- [Space Experience の概要 \(3 ページ\)](#)
- [Space Experience を使用したデバイスの管理 \(3 ページ\)](#)
- [Space Experience を使用したユーザーの管理 \(7 ページ\)](#)

## Space Experience の概要

**Space Experience** アプリケーションでは、Cisco Spaces を使用して、職場の会議室、フロア、および建物全体でデジタルサイネージのオンボード、設定、および管理を行うことができます。このアプリケーションでは、Cisco Webex および Cisco Webex 以外のサイネージでのテレメトリパラメータを設定して公開することもできます。これらの更新は、それぞれのサイネージに自動通知されます。

Space Experience アプリケーションは、Cisco Spaces の **ACT** ライセンスに紐付けられています。

## Space Experience を使用したデバイスの管理

---

**ステップ 1** Cisco Spaces で、**[Dashboard]** > を選択します。  
**[Space Experience]** ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 左側のナビゲーションウィンドウで、**[Devices]** をクリックします。

**ステップ 3** 対応するタブをクリックして、**[Webex Devices]** または **[Non-Webex Devices]** を選択します。

サイネージ固有の手順については、次のリンクのいずれかをクリックして、必要な手順を選択してください。

- [Webex サイネージのセットアップ \(4 ページ\)](#)
- [Cisco Webex 以外のサイネージのセットアップ \(6 ページ\)](#)

## Webex サイネージのセットアップ

ステップ1 Webex Control Hub で **Cisco Smart Workspaces** をアクティブにします。

ステップ2 Cisco Spaces で Webex Control Hub に接続します。

ステップ3 Cisco Webex サイネージで **Cisco Smart Workspaces** を設定します。

### 次のタスク

詳細については、以下の手順を参照してください。

## Cisco Webex の統合

Cisco Webex と Cisco Spaces の統合により、**Webex Control Hub** アカウントの Cisco Webex デバイスは、**Webex Control Hub** と Cisco Spaces 間のクラウド間統合を実行できます。



(注) Cisco Webex の統合では **Cisco Smart Workspaces** ユーザーのみがサポートされています。

この統合は以下をサポートします。

- [Webex Control Hub] からの Cisco Webex ワークスペース、デバイス、ワークスペースの場所、フロアの詳細などの Cisco Webex エンティティの同期。同期プロセスは、Cisco Spaces ダッシュボードでトークンが設定された後、3 時間ごとにバックエンドでスケジュールされます。[Setup] > [Webex] を選択して、トークンを設定します。
- Cisco Webex デバイスは、温度、電波品質、占有率などのデバイスデータを送信し、Cisco Smart Workspaces で使用されます。

**Cisco Webex** 統合の一部として、Cisco Spaces は、**Cisco Webex** ナビゲータの永続的な Web アプリとの統合をサポートしています。顧客が **Cisco Webex Control Hub** と Cisco Spaces の統合をアクティブ化すると、Control Hub で、この統合をサポートする必要な設定が更新されます。



(注) 現在、この統合を利用できるのは **Cisco Smart Workspaces** ユーザーのみです。

## Cisco Webex の設定

Cisco Webex アカウントを Cisco Spaces に接続してから、Cisco Webex ネットワークをロケーション階層にインポートできます。

ステップ1 [Cisco Spaces] にログインします。

ステップ2 Cisco Spaces ダッシュボードで、[Menu] アイコン (☰) をクリックし、[Setup] > [Webex] を選択します。

ステップ3 [Connect your Webex] ウィンドウで、[Connect] をクリックします。

Webex トークンスライダが表示されます。

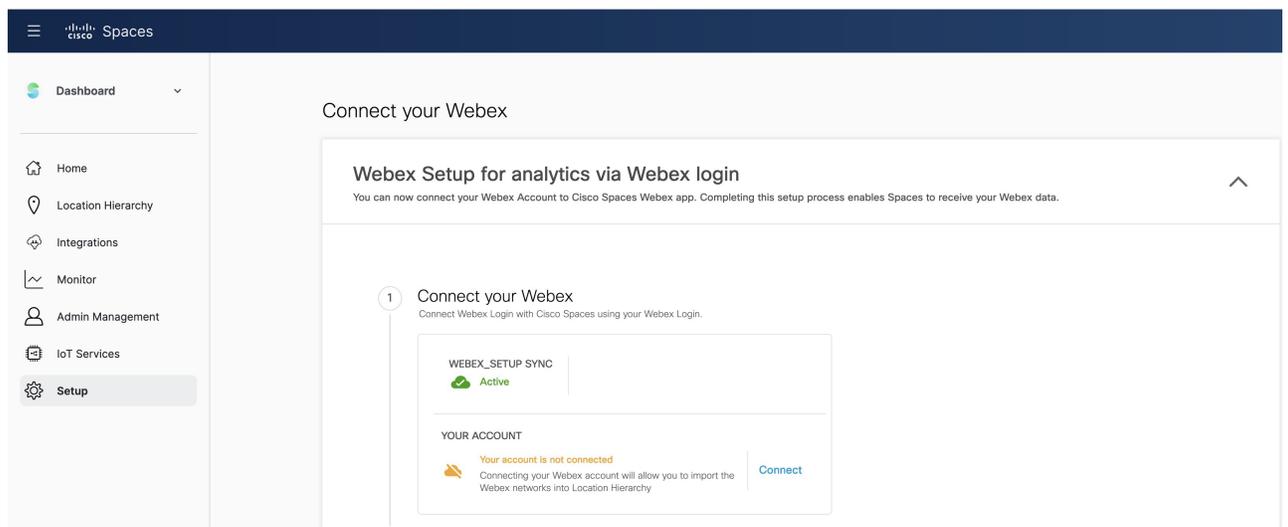
ステップ4 [Enter or copy-paste your Webex Token] フィールドに、Cisco Webex トークンを入力します。

[Webex Control Hub] からトークンを取得できます。アクティベーションコードの生成についての詳細は、「[アクティベーションコードの生成 \(5 ページ\)](#)」を参照してください。

ステップ5 [Connect] をクリックします。

Cisco Webex ネットワークを [Location Hierarchy] にインポートしているときに、少なくとも1人のユーザーが自分の Cisco Spaces アカウントを Cisco Webex アカウントに正常に接続した場合、Cisco Webex 同期ステータスは、特定のテナント（アカウント）内のすべてのアクティブユーザーに対して [Active] と表示されます。

図 1: Cisco Webex 同期ステータス



## アクティベーションコードの生成

[Cisco Webex Control Hub](#) を使用してコードを生成します。

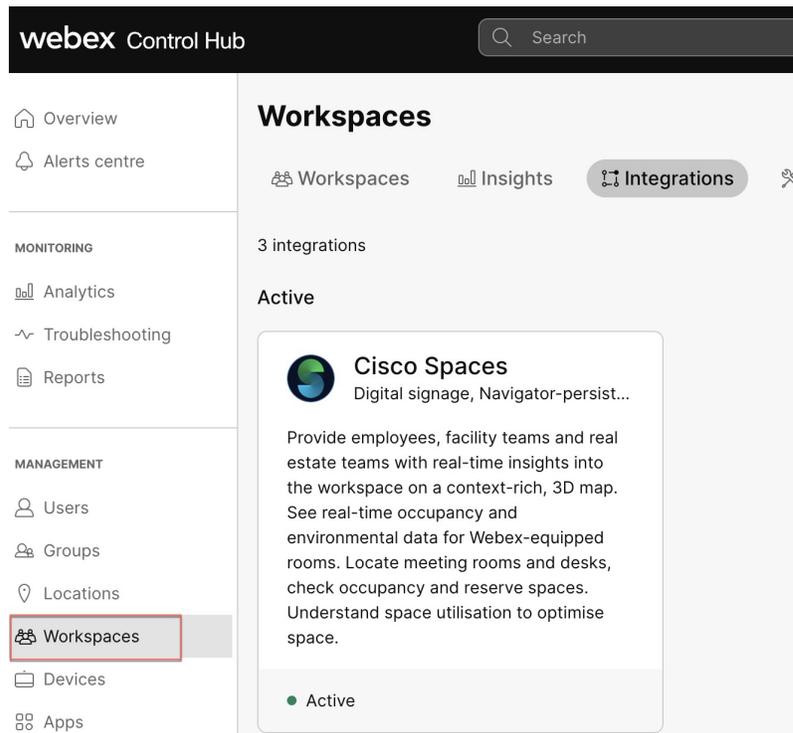
ステップ1 [Cisco Webex Control Hub](#) にログインします。

ステップ2 [Cisco Webex Control Hub] アカウントの電子メール ID を入力してサインインします。

ステップ3 [Cisco Webex Control Hub] ダッシュボードで、[Management] > [Workspaces] を選択します。

ステップ4 [Integrations] タブをクリックします。

図 2: Cisco Webex Control Hub



ステップ 5 [Cisco Spaces] アプリのタイトルで、[Details] をクリックします。

[Cisco Smart Workspaces] アプリ統合の詳細ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 ウィンドウの右上隅にある [Activate] をクリックします。

ステップ 7 [Cisco Smart Workspaces] によって要求された権限を確認し、[Terms and Conditions] チェックボックスをオンにします。

ステップ 8 [Activate] をクリックします。

ステップ 9 [Copy to Clipboard] オプションを使用してアクティベーションコードをコピーし、コードを **Cisco Spaces** に貼り付けて **Cisco Webex** を統合します。

生成されたアクティベーションコードの有効期限の詳細は、[Activate Integration: Cisco Smart Workspaces] ウィンドウに表示されます。

## Cisco Webex 以外のサイネージのセットアップ

このタスクでは、**Space Experience** アプリケーションを使用して Cisco Webex 以外のデバイスを設定し、サイネージで **Cisco Smart Workspaces** をアクティブにする方法について説明します。

## 始める前に

- 
- ステップ 1 Cisco Spaces で、[Dashboard] > を選択します。  
[Space Experience] ウィンドウが表示されます。
  - ステップ 2 左側のナビゲーションウィンドウで、[Devices] をクリックします。
  - ステップ 3 [Devices] ページで、[Non-Webex Devices] タブをクリックします。  
[Signages] テーブルが表示され、既存の Cisco Webex 以外のサイネージとそのロケーションが一覧表示されます。
  - ステップ 4 Cisco Webex 以外のサイネージのアクティベーションコードを生成するには、[View Activation URL] をクリックします。
  - ステップ 5 サイネージをアクティブにするには、ブラウザでこの URL をコピーして、サイネージに対して貼り付けます。
- 

## 次のタスク

# Space Experience を使用したユーザーの管理

- 
- ステップ 1 Cisco Spaces で、[Dashboard] > を選択します。  
[Space Experience] ウィンドウが表示されます。
  - ステップ 2 左側のナビゲーションウィンドウで、[User Management] をクリックします。
  - ステップ 3 [User Management] ウィンドウの [Users] タブをクリックします。
    - a) **Space Experience** アプリケーションを使用するために他の Cisco Spaces ユーザーを招待するには、[Invite User] をクリックします。

以下を指定し、[Send Invitation] をクリックします。

      - Cisco Spaces アカウントに関連付けられているユーザーの電子メールアドレス
      - ユーザーのアクセス権限に応じたロール。[Read Write User]（フルアクセス）または [Read Only User]（読み取り専用アクセス）を選択できます。

（注） **Space Experience** で使用可能なユーザーロールを表示するには、[User Management] ウィンドウの [Roles] タブをクリックします。
      - Cisco Spaces で使用可能な [Location Hierarchy] からのロケーション。すべてのロケーションを表示するには、[Choose Locations] をクリックします。
    - b) 既存のユーザーを削除するには、[Users] テーブルで、目的のユーザーを選択して [Delete] をクリックします。

[Users] テーブルが表示され、使用可能なユーザーと割り当てられたロールが一覧表示されます。
-





## 第 3 章

# Space Manager

- [Space Manager の概要 \(9 ページ\)](#)
- [Space Manager を使用したデバイスの管理 \(10 ページ\)](#)
- [Space Manager を使用したワークスペースの管理 \(10 ページ\)](#)
- [Space Manager を使用したユーザーの管理 \(10 ページ\)](#)
- [Space Manager を使用した占有率レポートの設定 \(11 ページ\)](#)

## Space Manager の概要

**Space Manager** アプリケーションを使用すると、施設マネージャは、Cisco Catalyst、Cisco Meraki、Cisco Webex、Cisco IoT のデバイスやセンサーなどの統合デバイスをワークスペースで設定し、会議室の収容人数や空き状況などのリアルタイムの占有率データにアクセスすることができます。また、このアプリケーションでは、周囲の温度、湿度、電波品質、ノイズなどの環境関連のテレメトリも、会議室、フロア、または建物の3Dリッチマップに表示されます。

- [Devices] セクションでは、設定されたデバイスとそのテレメトリの詳細をリッチマップに表示できます
- [Space Management] セクションでは、設定された会議室またはワークスペースの数と、関連付けられているデバイスの数などの詳細を表示できます。選択したワークスペースのデバイスを追加または削除することもできます。
- [User Management] セクションでは、すべての **Space Manager** ユーザーと割り当てられたロールのリストを表示できます。特定のワークスペースにユーザーを招待するオプションもあります。
- [Room Occupancy Reports] セクションでは、ワークスペース（建物またはフロア）の占有率データが含まれているレポートを設定、表示、およびダウンロードできます。

**Space Manager** アプリケーションは、Cisco Spaces の **ACT** ライセンスに紐付けられています。

## Space Manager を使用したデバイスの管理

ステップ 1 [\[Cisco Spaces\]](#) にログインします。

ステップ 2 Cisco Spaces の **[Dashboard]** > **[ACT Apps]** セクションで、**[Space Manager]** アプリケーションタイトルをクリックします。

**[Space Manager]** ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 左側のペインで、**[Devices]** をクリックします。

ステップ 4 対応するタブをクリックして、**[Webex Devices]** または **[Non-Webex Devices]** を選択します。

サイネージ固有の手順については、次のリンクのいずれかをクリックして、必要な手順を選択してください。

## Space Manager を使用したワークスペースの管理

**Space Manager** アプリの **[Space Management]** ページで、建物またはフロア内のさまざまなワークスペースに関する情報を表示できます。

ステップ 1 Cisco Spaces で、**[Dashboard]** > を選択します。

**[Space Manager]** ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 左側のナビゲーションウィンドウで、**[Space Management]** をクリックします。

ステップ 3 **[Space Management]** ページに、設定済みのワークスペースが一覧表示されたテーブルが表示されます。

ステップ 4 ページの上部にある階層ドロップダウンを使用して、設定されたロケーションに移動します。

a) レコードをフィルタ処理するには、**[Workspaces without devices]**、**[Workspaces with Temperature]**、または **[Workspaces with all sensor types]** のいずれかのオプションをクリックします。

フィルタをリセットするには、**[All Workspaces]** をクリックします。

## Space Manager を使用したユーザーの管理

ステップ 1 Cisco Spaces で、**[Dashboard]** > を選択します。

**[Space Manager]** ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 左側のナビゲーションウィンドウで、**[User Management]** をクリックします。

ステップ 3 **[User Management]** ウィンドウの **[Users]** タブをクリックします。

- a) **Space Manager** アプリケーションを使用するために他の Cisco Spaces ユーザーを招待するには、[Invite User] をクリックします。

以下を指定し、[Send Invitation] をクリックします。

- Cisco Spaces アカウントに関連付けられているユーザーの電子メールアドレス
- ユーザーのアクセス権限に応じたロール。[Read Write User]（フルアクセス）または [Read Only User]（読み取り専用アクセス）を選択できます。  
(注) **Space Manager** で使用可能なユーザーロールを表示するには、[User Management] ウィンドウの [Roles] タブをクリックします。
- Cisco Spaces で使用可能な [Location Hierarchy] からのロケーション。すべてのロケーションを表示するには、[Choose Locations] をクリックします。

- b) 既存のユーザーを削除するには、[Users] テーブルで、目的のユーザーを選択して [Delete] をクリックします。

[Users] テーブルが表示され、使用可能なユーザーと割り当てられたロールが一覧表示されます。

## Space Manager を使用した占有率レポートの設定

Space Manager アプリケーションでは、フロアまたは建物の [Room Occupancy Reports] を設定、表示、およびダウンロードできます。このレポートでは、選択したフロアと建物のさまざまな部屋の集計された人数が 15 分ごとに提供されます。

[Room Occupancy Reports] には、建物名、フロア番号、部屋名、部屋の収容人数、部屋のピーク人数などの情報が含まれています。

- ステップ 1** Cisco Spaces で、[Dashboard] > を選択します。  
[Space Manager] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [Space Manager] ウィンドウの左側のナビゲーションウィンドウで、[Room Occupancy Reports] をクリックします。
- ステップ 3** [Room Occupancy Reports] ウィンドウで、[Create New Report] をクリックします。  
[Report Parameters] ウィザードが表示されます。
- ステップ 4** [Select Report Level] セクションで、[Buildings]、または [Floors] のいずれかをクリックして選択します。
- ステップ 5** [Next] をクリックします。  
[Locations] ペインが表示されます。
- ステップ 6** [Locations] ペインで、階層を展開して目的のロケーションに移動し、対応するチェックボックスをオンにします。

(注) または、[Locations] ペインで、目的の [Building]、または [Floor] を検索することもできます。

選択したロケーションがペインの右側に表示されます。

- ステップ 7** [Next] をクリックします。  
[Date Range] ペインが表示されます。
- ステップ 8** [Select Date Range] セクションで、占有率レポートの日付範囲を指定するか、頻度を選択することができます。
- a) [Specify Date Range] : 一定期間のレポートが必要な場合は、このオプションを選択し、日付ピッカーから [Start Date] と [End Date] を選択します。
- (注) 日付は、選択したロケーションのローカルタイムゾーンに基づいています。
- b) [Recurring Report] : 定期的な占有率レポートを生成し、次のいずれかのオプションを選択して頻度を指定する場合は、このオプションを選択します。
- [Weekly] : このレポートには、最後に完了した週（日曜日から土曜日）のデータが含まれます。
  - [Bi-weekly] : このレポートには、最後に完了した 2 週間のデータが含まれます。
  - [Monthly] : このレポートには、最後に完了した月のデータが含まれます。
- ステップ 9** [Reporting Time Interval] を指定するには、[15 minutes]、[30 minutes]、または [60 minutes] のいずれかを選択します。
- ステップ 10** [Next] をクリックします。  
[Report Filters] ペインが表示されます。
- ステップ 11** [Report Filters] ペインでは、占有率レポートの次の基準を指定できます。
- a) [Filter By Specific Day(s)] では、特定の曜日または [All Days of the Week] を選択できます。
- (注) 少なくとも 1 つの曜日を選択する必要があります。そうしていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
- Atleast one day must be selected to generate a report.**
- b) [Filter By Specific Hours] では、[Full Day (24 Hrs)] を選択するか、[Start Time] と [End Time] を指定することができます。
- c) [Filter By Capacity of Room(s)] では、目的の部屋の収容人数を選択します。
- (注) 少なくとも 1 つの部屋の収容人数のグループを選択する必要があります。そうしていない場合、次のエラーメッセージが表示されます。
- Atleast one capacity group must be selected to generate a report.**
- d) データがない期間のエントリを除外するには、[Skip Empty Rows] を選択します。
- ステップ 12** [Create Report] をクリックします。

---

### 次のタスク

**Space Manager** の左側のナビゲーションウィンドウで、[Room Occupancy Reports] に移動します。[Report History] ページでは、次のアクションを実行できます。

- テーブル内のレポート名に対応する [Download] (固定の日付範囲に設定されたレポートの場合) または [Download Recent] (定期レポートの場合) をクリックして、設定されたレポートをダウンロードする。
- テーブル内の目的のレポートに対応する省略記号アイコン ([...]) に移動し、[Edit] をクリックして、設定されたレポートを編集する。
- [Space Manager での占有率レポートの表示](#)

## Space Manager での占有率レポートの表示

**ステップ 1** Cisco Spaces で、**[Dashboard]** > を選択します。  
**[Space Manager]** ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 左側のナビゲーションウィンドウで、**[Room Occupancy Reports]** をクリックします。

**ステップ 3** **[Report History]** ページで、目的の **[Report Name]** をクリックします。  
詳細なレポートが表示されます。

**ステップ 4** **[Reports]** ペインでは、次の詳細を表示できます。

- **[Report Name]** : 編集可能で、**[Report History]** テーブルでも更新されます。
- **[Buildings]** : 建物用に設定された占有率レポートに表示され、このレポートに含まれる建物の合計数が示されます。
- **[Floors]** : フロア用に設定された占有率レポートに表示され、このレポートに含まれるフロアの合計数が示されます。
- **[Rooms]** : このレポートに含まれる建物またはフロアの合計ルーム数が表示されます。
- **[Reporting Interval]** : 部屋のデータがレポートされる頻度です。
- **[Showing <reporting period> data]** : レポートの頻度です。週次、隔週、月次、または固定間隔のいずれかを使用できます。
- **[Additional Filters]** : レポートのデータがフィルタ処理される基準となる、日、タイミング、および部屋の収容人数です。
- 指定されたレポート基準に従って、個々の部屋 (**[Workspace]**) と、対応する **[Floor]** および **[Building]** の詳細、割り当てられた部屋の収容人数、部屋のピーク時の人数、**[Date]** および **[Interval Start Time (Local)]** が一覧表示されるテーブル。

### 次のタスク

**[Report History]** テーブルから、または特定のレポートの表示中に、個々の **[Room Occupancy Reports]** を編集およびダウンロードできます。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。